

議会報告会 会場報告書

担当班： 第2班 班代表者： 稲山 悟

概 要			
地区名 : 城東地区 日時 : 令和6年11月17日(日) 午前10時~午前11時35分 場所 : 城東公民館 参加人数 : 7人(男5人・女2人)	【出席議員】 稲山 悟 金崎美和 小島政行 隅田雅春 野々村康 本多紀元	(1) 開会あいさつ : 隅田 雅春 (2) 議会報告 : 小島 政行 (3) 質疑応答 : - (4) 意見・提言等 : - (5) 閉会あいさつ : 隅田 雅春	挨拶・総括 : 隅田 雅春 司会進行 : 隅田 雅春 報告 : 桐村 裕一・稲山 悟 記録 : 金崎 美和・野々村康 会場(マイク) : 前田 えり子

【主な質疑】

質疑・意見(第一部 議会報告について)	回 答
質疑、意見なし	

A 子育て・教育支援のために必要なこと

【参加者意見・ソフト】

- ・医療体制（土・日）の電話対応、里帰り出産の不安
- ・育児中、預かってもらえる場所がたくさん欲しい
- ・子どもが気軽に集える場づくり
- ・子育て支援人材の確保・地域での組織化
- ・登下校時の見守り活動
- ・外国籍の児童生徒、保護者への対応

【参加者意見・ハード】

- ・学校での教材予算の増額

A 子育て教育のために必要なこと

- ・地域全体で子育てを支援していく意識をさらに高めていく
- ・子育て人材の確保

B Aを実現するための課題と対策

【『課題』 参加者意見・ソフト】

- ・医療体制の充実
- ・地域総がかりで子育てを支えていく意識の醸成と行動
- ・児童生徒の減少に伴って登下校時の安全確保
- ・在住外国人への対応は地域でも課題

【『対策』 参加者意見・ソフト】

- ・土・日の電話対応の状況確認
- ・安心して出産できる体制
- ・リタイヤされた方を募り、子育て支援の人材を確保
- ・確保できた人材が登下校を見守る

【『課題』 参加者意見・ハード】

- ・財政は厳しいが将来世代には投資をして欲しい

【『対策』 参加者意見・ハード】

- ・市の予算確保

B 解決するために必要なこと

- ・子育てに関わる人材の確保

【考察】参加者の意見から見えてくるもの

- ・会社などを定年退職した人、教育現場の第一線を退いた人で、子育て支援や教育に興味・関心のある方が地域にはおられると思うので、そのような人材を発掘し、人材バンクのようなものをつくり、必要なところに必要な人材を配置し、子育て支援の土台を広げていくことが大切。

A 子育て・教育支援のために必要なこと

【参加者意見・ソフト】

学校➡学校クラスの定員 40 人では多いので少人数制に
 5 教科以外の社会性の教育をもっと取り入れる
 安全➡登下校時の安全のため笛や鈴を持たせる
 地域の方の見守り隊存続
 少子化➡子ども会の存続、移住者増やす
 若者が帰ってきやすいまちづくり

【参加者意見・ハード】

環境➡篠山東中学校付近の歩道工事が途中で止まっている
 地域➡空き家の利活用と草刈り問題、遊具やグラウンドがない

B Aを実現するための課題と対策

【『課題』参加者意見・ソフト】

・地域行事、祭りごとの担い手不足

【『対策』参加者意見・ソフト】

・PTA の在り方を見直す

【『課題』参加者意見・ハード】

・若者が遊ぶ場所がない
 ・若者の働き場所がないから市外に出ていく
 ・ホッケー、サッカー、野球などスポーツ頑張っているのにグラウンドがない
 ・スポーツ大会の誘致

【『対策』参加者意見・ハード】

・テーマパーク、映画館をつくる
 ・企業、神戸大農学部キャンパス誘致
 ・グラウンド、スタジアムをつくる
 ・JR 直通便、通勤特急など
 ・阪神高速、篠山口
 ・スポーツ大会の予算

A 子育て教育のために必要なこと

子どもが遊ぶ遊具の設置と高齢の方のグラウンドゴルフ場の維持
 協調性を大切にして地域みんなで子育てに関心を持つ

B 解決するために必要なこと

スポーツ・教育

【考察】参加者の意見から見えてくるもの

- ・少子高齢化が加速する中、子どもも大人も誰もが住みよいまちづくりのため、まだまだやれる事はある
- ・無理だと諦めず言い続ける事が大事
- ・スポーツに力を入れている団体が多くあるのにグラウンドなどがなく環境が整っていないので環境整備が必要
- ・デカンショ祭の 2 日間や秋だけでなく、1 年を通して潤うまちづくりに力を入れるべき